



表紙の写真
甲州武者のぼり「鯉のぼり」

甲州武者のぼり、鯉のぼりは南アルプス市(旧甲西町)が主な産地。起源は江戸時代末期、その技法は後世に変わることなく受け継がれ、下絵も又、当時からものを使用している。

制作は糊作りから始まり、布の精錬、下絵写し、糊置き、豆汁の塗布、染付、色止め、水洗い、乾燥、仕立てから完成へと全11段階、全て手作業で行われる。特に、染付の作業は、一気に行うため、深夜にまで及ぶこともある。

こうした工程を経て、丹念につくられた幟は5月、元気いっぱいに青空を舞い上がる。その姿は、まさに子供たちの明るい将来と健康を象徴しているかのようだ。

「MUH」vol.32 2005.4.1
企画／早野グループ「MUH」編集室
深沢進・矢田道生・赤尾肇・望月賢・樋口明美・萩原美恵
編集／株式会社ニュースメディア甲府
三神弘・三井君男／高山ひとみ／千野和美／萩野由香／宮塚利雄・杉村聡／浅川毅・標克明・永田宏
印刷／株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託したMate(仲間) Union(結束) Harmony(調和)の頭文字からとりました。幻のムー大陸のロマンを目指します。

フォーラム			2
テーマ	一大決心	江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美	
対談			
山梨21	山本 久美子 さん	山梨音楽療法研究会会長 日本音楽療法学会認定音楽療法士 山梨県立かえで養護学校教諭 山の都ふれあいコンサート実行委員会事務局長	4
	「寄り添う」教育 福祉と地域社会 音楽療法への取り組み		
	ホスト 早野 潔		
トピックス			
	「空の駅」時代の到来	宮塚利雄	10
ウォッチング			
	社会福祉法人 善隣会		11
サークル訪問			
	相川地区蛭を守る会		13
セミナー			
	子供の遊び場～	深谷百合苗	14
山梨の伝統工芸			
	甲州武者のぼり・鯉のぼり		15
インフォメーション			
	やさしい手甲府・早野組・ネットヨタ甲斐・トヨタホーム山梨・甲府通運・ロード		16
歴史			
	南松院 葵庵理誠尼	上野晴朗	18
美術			
	ボク的美術品観察日記25	山本育夫	20
BOOK	こんなところに山梨…	BOOKコーナー 「武田有義とかんかん地蔵」	22
	お茶の間の民俗学(23)		
	一ふるさと意外史(4)一	志摩阿木夫	23
名峰からの富士山			
	富士見山	上野 巖	24
	甲府通運前史を訪ねる(25)	林陽一郎	25
ユーザー訪問			
	株式会社 石友		26
お家拝見			
	渡邊 統さん		27
ときのひと・FACE			
	早野組開発室 グリーンヒル愛宕担当 門馬 公秀さん		28
やさしい手甲府			
	介護保険情報		29
おしゃれ	人形の皇徳	たべる ごはん処 大戸屋 和戸店	30
コラム			
	某月某日	杉村 聡	31
ロードのページ			
	甲斐の細道 「桃太郎も通った道」	若林賢明	32

「南アルプス市」誕生

江宮隆之

市町村合併が大詰めを迎えている。しかし、合併で誕生する新しい自治体の名前にはセンスのない、妥協の産物としか言い様のないものが多い。

「甲斐市」「甲州市」などは意味するものは「甲府市」と変わらない。

「北杜市」などは「八ヶ岳市」で良かったと思う。だが、筆者には勝手な腹案があった。それは「銀河市」である。新市のキャッチフレーズは「日本で一番星が美しい市」。だから銀河市である。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をイメージしてもいい。実際に、八ヶ岳の麓は星が降るように美しく、銀河を観光の目玉にすればよいのだ。それに土地からではなく、夜空を新市の名前にした例は世界中にないはずだ。

塩山・大和・勝沼の新市は「一葉市」で決まりである。樋口一葉の故郷は塩山市上萩原。今年は一葉が五千円札の肖像に登場した年でもある。何よりも、一葉という女流文学者を新市に命名することには意義があらう。日本国中で人の名前が市名になっている例も、これまたない。「一葉市」。高貴な響きさえる。

いまだ一大決心訪れず

古屋久昭

これまでの人生で、一大決心の場面なんて、一体私にはあったのだろうか。幸か不幸か、答えは、ない、と言わざるを得ない。

たとえば結婚。これとて一大決心の心境ではなかった。ごく自然の成り行きだ。

結婚なんて生涯絶対にしない、と決意していたならば、これはもう立派な一大決心ではあったのだが。

つまり世間の常識を実行するのではおよそ一大決心とまではいかないのだ。一大決心と言うからには、並の行為ぐらいではだめである。

もちろん個人差はある。他人から見ればどうというほどのことでもないのに本人にとってはそれこそ一大決心ということもある。

これまでのわが人生で、一大決心がまるでないのも、平凡な人生を象徴しているようで情けない。

「一大」を取り除いて、単に「決心」ぐらいではどうだろうか。これならたくさんありそうだ。

まっ先に浮かぶのは、若かりし頃、北海道へ、九州へと、サイクリングで縦走しようと決心したことだ。いざ出発してしまえば、案ずるほどのこともなしの快

ところで以下は秘話である。「南アルプス市」は全国初のカタカナ市名であった。しかし、ことここに至るまでには「こまの市」など巨摩に因んだ名称が取り沙汰された。ある時、私はこの合併を推進してきたリーダーのK氏にこう働きかけた。

「新市の名前は南アルプス市だよ。これなら日本国中でどこにあるかすぐに分かる。カタカナの市名はないから珍しくてパブリシティ効果は十分にある。ここで名付けなければ、長野県のどこかにとられちゃうよ」

K氏は、最初考え込んでいたが、ハタと手を打った。あらゆることを考慮に入れたらそれが一番だと同調してくれたのだった。それからK氏は、周辺に様々に働きかけた。その結果、全国にブレイクした「南アルプス市」が誕生したのだった。

K氏は今も言う。「お陰で数百億円の宣伝効果があった。新市の命名者のあなたに敬意を表したい」。

しかし、カタカナ市名は住民にも市の幹部にも一大決心であったろう。その一大決心が南アルプス市という名前をメジャーにしたのである。

走の日々だった。

貯めていた結婚資金を1ヶ月近いヨーロッパ旅行の費用に切り替えてしまったときにも決心はいった。1年後に控えていた結婚が破談にでもなっていたのならいざ知らず、結局、結婚費用のほうを借金で工面したのだが、なぜヨーロッパ旅行のほうで借金をしなかったのか、われながら今もって謎である。

冬山を始めたときにもそれなりに決心はいった。が、これとて一大決心にはほど遠い。

何事もそうであるように決心するまでが大変だ。余計な心配をしたり、自信を失いかけたり、思い止まるようにと慎重派小心派の友人や家族から反対されたり、つまり決心に付き物の厄介物を払いのけなければ決心には至らない。

一大決心とは、悩み苦しんだ大きさ、このために放出した深刻エネルギーの量、加えて、それらのことがその後の人生にどのくらい左右するかの度合いを掛けたものである。

一方、日々凡々の人生でも、その過程では無数の微小、中小なる決心の集積で成り立っていると言えるのだ。

「一念発起」なんてしたことがない

岩崎正吾

「一念発起」という題をもらい、つらつらと考えたのである。自分には過去に「一念発起」したことがあったのだろうか。いつ、どのようなことで、そういう精神状態になったのだろうか。一生懸命考えたが、まるで、さっぱり、思い浮かばない。

どうやら、わたしは生まれてから、一度も「一念発起」したことがないようだ。ひとつも思いつかないのだから、そう思うしかないのだ。これは困ったことだ。「一念発起」したことのない人間が、そのような原稿を書けるわけがない。

なぜ、わたしは生まれてから一度も「一念発起」したことがないのか。その理由なら、おぼろげながら見当がつく。わたしは意志が弱い。そのことをよく自覚している。だから、どう「一念発起」したところで、その目標たることがやりとげられるわけがない。その自己意識があるから、最初から「一念発起」を放棄しているのだ。つまり、無駄なことはやらないということだ。

話は突然変わるようだが、二年ほど前にタバコをやめた。一日四、五十本吸っていて、原稿を書く仕事とタバコは切っても切れないと思う人が多いとみ

え、会う人、会う人に感心された。「よくやめられましたね」「一念発起したんですね」…。

ところがわたしには、そのような意思的な努力をした覚えはまるでない。要するに、タバコを吸う体力がなくなってしまったのだ。「今日も元気だ。タバコがうまい」という言葉は真実で、健康でなくなるとタバコはうまくなる。うまくもないものを吸い続けても仕方がない。

その日、その時、突然、タバコがまずくなり、「やあめた」と心の中で叫んだら、もう吸いたくなくなった。だから、やはり、意思的ではないのである。意思が弱くて、一念発起したことがないという、よほど出来損ないの人間のように思われるかもしれない。だから最後に弁明しておく、意思は弱いが感情のおもむくままに生きることは得意だ。巖のような意思はなくとも、小川のような感情の流れがあったから、わたしはここまで生きられたのだろう。

マドレーヌと共に

佐藤真佐美

津軽選挙、茨城選挙、甲州選挙は、全国のワースト3だとか。青島幸男氏が衆議院議員に当選したとき、山梨で青島方式はどうかと話題になった。03年4月の統一地方選に「センセ、無投票阻止のために出てくりよ。応援するよ」「どちらさまですか」「名前はちょっと……」という電話が複数。一大決心とまではいかないまでも、甲州選挙に風穴^{うが}を穿つには頃合の実験台だと友人に乘せられ、無謀な冒険に挑んだ時は、気が狂っていたのかもしれない。

親戚も同級生もゼロ、地縁、血縁いうに及ばず、金縁まったくなし。そのうえ選挙運動は一切しないが謳い文句。妻や子どもは反対。地域の推薦をお願いしたところ「家族が反対しているのに推薦できるか」と一蹴。運動期間は5日間。「その間、ハワイにでも滞在ですか」などと知人が薄ら笑い。

教え子たち10人あまりに集ってもらい、法定の無料はがき70枚の宛名書きをボランティアで頼む。彼らの同級生名簿を頼りに、町内在住の20代、30代ばかりに発送。ポスターは30万円かかるという。パソコンでデザインした図案を1枚60円のカラーコピー

で80枚刷る。告示の朝、掲示板にポスターが一斉に張られ、私の番号のところだけ空白。「それも戦略ですか」などと電話がかかってくる。教え子たちが仕事を終わってから張りに出てくれた。

選挙戦最終日、「先生の名前があるようだけど、声が全然聞こえない。真剣にやるきはあるのか」と別の教え子から。少しは声をあげると有力友人からも。選挙カーを用意すると60万円とか。知り合いの電気屋さんから2千円でハンドマイクを借り、愛犬マドレーヌの首に運動員の腕章を吊し、「新しい町造りにご協力を」と町内を1時間あまり散歩。

翌日、生まれて初めて選挙にいったという40人あまりがわが家に集まって、開票結果を待つ。

第1回発表ゼロ、2回目もゼロ、深夜0時、3回発表でやっと100票。「そろそろ着替えて」と妻が落選の準備を促す。着物に袖を通してるとゴーと歓声。尻から2番目で当選。費用はしめて12万円。新聞記者がやってきて、「若者ばかりで賑やかですね」。山梨にも、新しい風が吹き始めたのかな。



江宮隆之■
えみや・たかゆき
増穂町生まれ。中央大学卒。歴史文学賞、中村星湖文学賞受賞。著書に『白磁の人』『武田勝頼 花の歳月』『女たちの新選組 花期花会』など多数。新刊：『母人形』（河出書房新社）、「直江兼統」（学研M文庫）
小説「白磁の人」は映画制作委員会が作られた

古屋久昭■
1943年御坂町生まれ
日本現代詩人会会員 日本現代詩歌文学館評議員 詩集に『落日探集』ほか。童謡集に『虫らしく花らしく』 エッセー集等

岩崎正吾■
1944年甲府市生まれ
作家 山梨ふるさと文庫代表 現在 1冊でも本のつくれるオンデマンド印刷機を山梨に導入しようと奮闘中
また インターネット上で作家 出版活動をしようと模索中 今春新作ミステリー「探偵の冬」が刊行され 同時に「探偵の秋」が文庫化される

佐藤真佐美■
1939年北海道生まれ
日本児童文学者協会 日本児童文学協会 著書に『怪奇！大東京妖怪ゾーン』（ポプラ社）「文ちゃんのはるかな知床」（北海道新聞社）近著に『シレットアのシルバー』（草炎社）「山梨の童話」（リファ出版）など

「寄り添う」教育 福祉と地域社会 音楽療法への取り組み



早野 潔



山本 久美子 さん

ゲスト

やまもと くみ こ
山本 久美子 さん

山梨音楽療法研究会会長 日本音楽療法学会認定音楽療法士
山梨県立かえで養護学校教諭 山の都ふれあいコンサート実行委員会事務局長

ホスト

はやの きよし
早野 潔 早野組社長

一人ひとりの可能性 みんな学校が大好き

早野 かえで養護学校の校歌は「フレンズ」で、「いま私は 風の中にいて 青い空と 話をしたよ 杜の木 洩れ陽 楽しく歌ったら 楓のはっぱが ダンスしてた 友達っていいもんだね」と、始まります。

開校は平成13年4月ですね。早野組とはご近所ですから、子供たちとはよく出会います。明るく、元気ですね。

山本 地域に恵まれ、また、学校も広く、児童生徒の障害にふさわしく設計されていますから、教育環境は素晴らしいですね。児童生徒数は129名。児童生徒3人に1人の割合で教師が担当しています。

自分の言葉で気持ちを伝えたり、感情や、身体をコントロールすることが難しい児童生徒ですが、可能性を開き、育成していくことが教育目標です。

早野 児童生徒3人に教師1人というのは、密接な関係ですね。望ましい教育ができるでしょうね。

山本 一人ひとりの状態に添った教育、一人ひとりに応じた教育ができます。個性も、持ち味も生かせ、伸ばすことができます。

早野 教育は、いま、問題が多く、不登校や、保健室登校も増加していますね。

山本 学校教育といいますと、どうしても学校の中だけで教育してしまいます。しかし、将来、社会で自立していくためには、地域との交流も必要です。

早野 地域も「大きな学校」といえるでしょう。多くの人たちとの交流で、

人間性も豊かになり、社会性も養われていくことでしょう。

かえで養護学校には、いわゆる塀がありませんね。明るく、隔たりのない構造になっています。体操をしたり、農作業をしている楽しそうな光景に、ふと、足を止めることがあります。

山本 ぶどうの栽培を見学しにもいきます。染色や、工芸にも取り組みます。ご近所へ、買い物にも出かけます。「開かれた学校」は、教育方針のひとつです。

保護者の方にも、地域の方にも、いつでもいらしていただけます。大きな地域の力で、育てて頂きたいですね。

早野 養護学校の教師をされて、何年になられますか。

山本 新任は中学校の音楽教師で、2年目から新設の養護学校に赴任することになりました。30年ほど前のことになります。

早野 不安だったでしょうね。

山本 研修にいきましたが、もとより、初めて出会う児童生徒達です。その時に、1人が立ち上がり、「先生」と呼びかけられました。「別れることはつらいけど」と、当時の流行歌であった「星影のワルツ」を歌い出したのです。それは、上手というのではなく、しかし、全身で、精一杯に、表現するのです。

若い音楽教師としては、クラシックしか知りません。「星影のワルツ」という曲であったことも、知ったのは、後日です。しかし、このとき、表現にこめられたものを感じとることができたのです。とても、心を打たれたのです。

早野 表現に託したものの大きさでしようか。出会いというのでしょうか、凡人ではなく、先生でなければ共有することができなかった感性でしょう。山本 音楽の意味について考えさせられた体験でした。そのとき、不安は、意欲に変わりました。

早野 音楽療法への関心も、この頃のことですか。その頃は、まだまだ知られることのない分野でしたでしょう。

山本 当時は、まだ、精神科医の範疇でした。

早野 それを、児童生徒達との音楽活動として、また、教育として実践されていきました。

成果や、評価だけでなく 寄り添う教育の大切さ

早野 音楽療法というのは、どのようなものなのでしょう。

山本 基本は、対象者に合わせることです。教育というのは、学習をとおして、引き上げることが目指されがちです。また、出来たか、出来ないか、絶えず評価がつきまっています。

ところが、音楽療法は、対象者の側に立ち、対象者にとっての意味を探ります。たとえば、知的障害の児童生徒にとって、音楽とはなにかを問うことから始めなければなりません。

早野 児童生徒は、どんな音楽が好きでしょう。

山本 リズムや、歌詞のイントネーションなどに、まず、関心を寄せます。クラシックから、ラテン、ジャズ、ロックと、音楽は多様ですが、リズムのあるものに反応します。学習をして歌を歌う、楽器を演奏するというだ



オーシャンドラムと手作り楽器の缶詰ハーブなど

けでなく、気持ちが発散され、自然に身体が動き出します。

児童生徒の求めている音楽を探るべく、おのずと、教材の研究や、開発にも専念することになります。わたし自身の音楽観も広がっていききました。

早野 一人ひとりの児童生徒によっても、音楽の感受性は違うのでしょう。

山本 学ぶことは多いのです。ある肢体不自由の児童は、目や耳で刺激が入らないものですから、絶えず身体を動かし、身体に刺激を入れているという状態でした。あるとき、身体がぴたっと、止まったのです。どうしたのかと、わたしも同じように目を閉じましたら、遠くから鐘の音が聞こえてきたのです。

ああ、音を聞くというのは、すべての動きを止めることなのだな、この児童にとって聞くというのは、こういうことだったのだ、と知らされました。児童と寄り添うとは、こういうことなのだな、とも実感しました。

早野 常識を常識にとらえずに、児童生徒の側に立ち、意味を深めているのですね。

山本 筋ジストロフィーで、寝たきりの児童がいました。あるとき、ピアノを演奏したとき、その児童は、曲が終わり、周りが騒がしくなっても、静かにしていました。ピアノの演奏は、曲を弾き、鍵盤から手が離れると、演奏の終わりの合図になります。

しかし、ピアノの音は、じつは、鍵盤ではなく、踏んでいるペダルを徐々に離していった、消えます。その児童は、わたしがペダルを離れたときに、目を開けました。音というのは無から始まり、無に帰っていくのですが、その児童は、音が無に帰っていくその一瞬のときを、じつに豊かに聞いていたのですね。

早野 音を大切に、しかも、味わい深く聞き取っていたのですね。先生と児童生徒との素晴らしい関係も、目に浮かんできます。

高齢者と楽しいリハビリ可能性を開く音楽療法

早野 長年の音楽療法の経験を生かされ、一昨年、山梨音楽療法研究会を発足させ、会長をなさっています。音楽療法という言葉も普及し、

関心も集まっていますが、どのような活動をされていますか。

山本 全国的には日本音楽療法学会があります。音楽を教育や障害の改善、福祉に活用できないか、という時代の要請もあります。ひとつは、音楽療法の啓蒙です。もうひとつは、音楽療法士の育成です。

会員は、現在70名。学会認定の音楽療法士も10名ほどいて、病院、高齢者施設、児童施設などで貢献しています。

早野 早野グループには、在宅介護のヒューマンケアサービスを目指す「やさしい手甲府」があり、音楽療法も導入しています。

山本 一般の関心も高まってきましたね。音楽療法の講座を開きますと、音楽療法を勉強したいという方、音楽療法を家庭でやってみたいという方、また、音楽療法を受けたいという方などがご参加されます。

早野 音楽療法の今日のポジションと、期待とがわかります。

山本 たとえば、お手玉を使った音楽療法があります。高齢者で、手がご不自由な方は、お手玉を受け取ることはできても、返すことができません。しかし、音楽、ことに、昔の音楽を流しながらリハビリをしますと、おのずと音楽に動作が引き出され、効果があります。

早野 諦めずに、積極的にもなるでしょうね。音楽が、身体の機能呼び覚ますのでしょうか。

山本 歌を歌うこともよいでしょう。歌は呼吸法ですから、息の浅い高齢者も、歌を歌うことで、深い息を促すことができます。また、曲名を思い出したり、歌にまつわる記憶をよ



みがえらせたりもします。

早野 なによりも、つらい訓練というのではなく、楽しくリハビリができますね。遊びや、ゲーム感覚ですね。

山本 音楽は、脈拍や、呼吸と一致しています。したがって、誰もが親しめる音楽というのがあります。まず、初めは普遍的な音楽を、それから、その人、その人の好みを知り、選曲していくことでしょう。

早野 やはり、人に寄り添う、ということが基本なのですね。寄り添うことによって、見えてくること、なすべきこともわかってくるのですね。

山本 障害をもつ高齢者にせよ、児童生徒にせよ、一人ひとりにとっての望ましい接し方というものがあります。たとえば、声をかけるときでも、耳元のどの辺で、どのように声をかけるのがよいのかを知ることです。接する態度も、同じことです。

どなたに対しても、人間としての尊厳をもって接し、倫理をもち、洞察力を養わなければなりません。

音を聞く、音を目で見る 創意工夫の、手作り楽器

早野 これはまた、たくさんの楽器をお持ち頂きましたね。手作りの楽器もたくさんあります。

これは空き缶と竹と釣り糸を素材にして、よく工夫されていますね。
山本 缶詰ハーブと名前を付けました。こうして釣り糸を引っ掻くと、音が出ます。引っ掻くというのは、人にとって初期感覚です。動作によって、音が変わっていきます。音を出そうとすることで、おのずと、動作が伴ってくるのですね。

早野 音を求めることで、機能を回復させたり、積極的になるのでしょうか。

山本 これはゴムをホチキスで止めただけのものですが、自然の音が出ます。音というのは、微妙で、また、影響力をもっています。音を聞くことで神妙になったり、発作を起こしたりと、反応もいろいろです。

早野 この海が描かれた円形の楽器は何でしょう。中にはたくさんの粒子が入っています。

山本 両手に持って、傾けますと、さて何の音でしょう。波の音が聞こえてきますね。これは、オーシャンドラムといいます。手の動きで、波の音も強く、弱くと、さまざまに変化します。また、波の形も、さまざまに変化します。

音というのは、目で見ることができるのです。聞く感覚と、見る感覚と、どちらかが優位です。目が使えなくなると耳が、耳が聞こえなくなると目が冴えてきます。校歌を歌うとき

も、このオーシャンドラムを使います。
早野 こころが落ち着いてきますね。たくさんの手作り楽器が加わって、オーケストラになりますね。

山本 ほかの楽器と比べて、自然に近い音です。雑音にならないのですね。これを頭上にあげて、下から覗いて、海の底にいる感覚に浸る児童もいます。

わたしも、同じように真似をしてみました。すると、海のなかにいるような、自然のなかで、いま、生まれ出たような、生命に目覚めるような感覚でした。

音楽を共有する舞台 ふれあいコンサート

早野 この楽器は、トライアングルに似た響きですね。

山本 エナジーチャイムといいます。波長は、さらに長いです。給食時間の後、走って踊っている児童も、静かに聞いてくれます。ご家庭でもよいのではないのでしょうか。

たとえば夫婦でいさかいをしているときなども、これを聞くと、もう言葉はいらない、分かり合おう、という安らかな気分になることでしょう。

早野 感情と音楽は密接な関わりがあるのですね。感情と同じ性質の音楽を聴くと、安心するのでしょうか。音楽療法は、家庭や、身近な暮らしにも採り入れられますね。

山本 予防医学としても注目されています。たとえば、家族との死別で絶望しているとき、突然の悲しい出来事で自分を見失っているとき、また、病気や怪我の痛みを緩和するなど、音楽は効用があります。

早野 こうして音楽療法の楽器を拝見しますと、既成の教材というものは少ないですね。それだけ一人ひとりの児童生徒に寄り添い、ご熱心に研究されているのですね。

山本 児童生徒は、一生懸命です。教師次第です。まず、モチベーション、動機付けができなければならぬでしょうね。どんなことに関心を

もってくれるのか、反応してくれるのかと、目を離すことができません。

かえで養護学校の自慢は、児童生徒の誰もが、学校を大好きなこと。そして、友達が大好きです。気分は、ファミリア、家族です。早野 これは、今日の教育問題に関わることでしょ。

先生は、「山の都ふれあいコンサート」の実行委員会事務局長もされています。音楽療法の成果でもあり、注目されています。

山本 詩や曲を募集し、選ばれた曲を発表します。また、養護学校、特殊学級の児童生徒と保護者、それに一般の方も加わって創作ミュージカルを発表します。月1回、音楽活動の集いをし、年1回、県民文化ホールで出演者、ボランティアを含めて総勢200名の手作りコンサートです。

早野 音楽をとおして会話をする、音楽で、共有するのですね。明日を生きる力ですね。

[構成：三神 弘]



「やさしい手甲府」の鹿野啓司さん(左)、雨宮勝さんもご参加

山梨県立かえで養護学校

地域との交流で芽ばえる心の教育

平成13年4月、甲府市東光寺に保護者の熱い期待と希望を背景に開校されました。

小学部・中学部・高等部があり、現在129名の児童生徒が緑豊かな自然環境と最新の施設設備の中で、行き届いた指導のもと生き生きと学校生活をおくっています。

その中で交流教育は、人とのふれあいを通じて、子ども達の心身ともに健康で個性の生かせる大切な教育として実践しています。



校舎



ヴァンフォーレ甲府の選手とイエイ!!



山の都ふれあいコンサートフィナーレ



真剣な目つきでぶどう狩り



私の詩が歌になったよ



里垣小学校のお友だちと紙のプールで



近くの児童公園を老人クラブの方と清掃



大正琴っておもしろいね



東中学校の生徒さんと交流



農園で作った野菜「買って下さい」

3月のダイヤ改正でブルートレインの寝台特急元祖「あさかぜ」（東京—下関）と、「さくら」（東京—長崎）が姿を消した。「あさかぜ」は昭和31年に東京と九州を結ぶ戦後初の寝台特急としてデビュー、青色の斬新な車体から「ブルートレイン」と呼ばれ、豪華な鉄道旅行の代名詞として、「動くホテル」とも呼ばれた。「さくら」と「あさかぜ」が半世紀近い歴史に幕を下ろすことになったのは、新幹線と航空機に押され乗客率が低迷したからだという。

中部国際空港（セントレア空港）が開港した2月17日、私は中国と北朝鮮の国境踏査のため、韓国の仁川国際空港から中国の瀋陽国際空港に向かった。日本から韓国への航空便は相変わらずの「韓流ブーム」の影響で、航空各社とも予約で満員の状況であった。成田から航空機を利用して海外に行く利用客の多さに驚いたが、同じような状況は韓国の仁川空港や中国の瀋陽空港でも目撃した。仁川から瀋陽までの飛行時間は約2時間であるが、時差が1時間あるので午前9時30分に仁川を離陸した飛行機が、瀋陽に着陸したのは午前11時30分ではなく、現地時間の10時30分前後。この間に食事をしたり、入国書類を書いたり、実にあわただしい滞在時間であるが、それにしても日本から韓国経由ではあるが、中国までの道のりが近くなったと、乗るたびに感じている。成田から瀋陽には直行便も飛んでいるので、甲府から瀋陽を経由して目的地の中国国境地帯までは、一日で行けるようになった。一年に数回は海外に出ているが、甲府から最寄りの空港までのアクセスの便利さに、感謝している。そしていつもしみじみと実感するのが「道の駅」、「空の駅」という言葉である。

「駅」といえばすぐに思い出すのが「鉄道の駅」である。たしかに国語辞典

山梨学院大学
経営情報学部教授

宮塚利雄

空港間の競争激化

開港により

「空の駅」時代の到来
中部国際空港（セントレア空港）

には「①自動車・電車などが停車し、旅客の乗降、貨物の輸送を取り扱う場所。また、その建物。停車場」とあるが、もう一つ「②法令制で、街道に設けられ、宿泊施設・馬・舟・人夫その他を供給した場所」という意味もある。

「道の駅」とは地域の創意工夫により、道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設で、平成3年10月から4年4月まで山口・岐阜・栃木県で「道の駅」が実験され、平成5年2月23日に「道の駅」の整備についての要綱が作成され、同年4月22日に第一回の登録が行われ、全国に103ヵ所の「道の駅」が誕生した。「道の駅」は平成16年8月9日の第20回の登録で43ヵ所が追加され、全国には785ヵ所ある（平成16年3月30日に一ヵ所登録抹消）。「道の駅」が誕生した背景には、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々の「情報発信機能」、さらには「道の駅」をきっかけに町と町とが行うための「地域の連帯機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として誕生したのである。このために「道の駅」は休憩施設としての利便性、「道の駅」相互の機能分担の観点から適切な位置に設置されなければならない、駐車場・トイレ・電話が24時間利用可能であり、さらには案内人がいて、親切な情報を提供することが求められる。そ

してなによりも年少者や高齢者、障害者など様々な人々の使いやすさに配慮し、景観に配慮し、地域の優れた景観を損なわないことが条件となる。

一方、「空の駅」という言葉は耳慣れないが、日本では1990年に「一県一空港」が叫ばれ、地方空港の存在がクローズアップされるようになってきた。空港とは「航空機が発着し、旅客や貨物の乗降が行われる公共用の飛行場」のことで、空港整備法の定義により「空港」は3種類に分類され、名称や位置は政令で定められている。「第一種空港」は、国際航空路線に必要な飛行場で東京国際空港（羽田空港）・成田国際空港・中部国際空港・大阪国際空港（伊丹空港）・関西国際空港などがある。「第二種空港」は、主要な国内航空路線に必要な飛行場で、北海道の新千歳空港や沖縄の那覇空港などが該当する。「第三種空港」は、地方的な航空運送を確保するため必要な飛行場のことで、沖縄県には粟国空港をはじめ12の空港がある。この3つの区分に該当しない飛行場は「その他飛行場」と呼ばれ、自衛隊の設置する飛行場で空港の機能を果たすものは共用飛行場として、空港整備法の対象となる。

日本の国際空港は海外の巨大国際空港に比べると、規模が小さく、滑走路も少なく、距離が短いという欠点もあるが、成田・中部・関空と比較的市街地から近い距離に中規模クラスの国際空港があるので、利用者の利便性については優れているといわれている。新たに開港した中部国際空港は、成田・関空ばかりでなくアジア各地の国際空港とも激しい競争にさらされることになるが、国内便の多さなどを生かして頑張っ

「この仕事はどうやっても機械化できない、人の手、人の力が大切な仕事です。それだけにスタッフ一人ひとりの心構えや働きはもちろん、これまでに培ってきた経験やノウハウも重要なんです」。そう話すのは社会福祉法人善隣会の廣瀬朱實理事長。甲府で最も長い歴史を持つ特別養護老人ホームを運営する理事長ならではの言葉だ。

家族からの信頼も厚い 経験豊かなスタッフ陣

甲府市和田町の、周りを木々に囲まれた静かな場所にある特別養護老人ホーム尚古園には、現在80人のお年寄りが入所し、介護サービスを受けている。入所者にとって施設はわが家であり、スタッフは家族の一員ともいえる存在。廣瀬理事長は「入所者が一日一日を楽しく、いかに有意義に過ごせるかを、スタッフ一

同心掛けています」と力を込める。尚古園は昭和51年開設の長い歴史を持つ施設だが、そのスタッフも長い経験を持つ人が多い。現在の園長や事務長らはすべて現場を経験している人ばかり。現場のスタッフにも十年以上の経験を持つ人が多く、入所者一人ひとりに応じたきめ細やかなサービスが入所者の家族からも高い評価を得ている。「親を安心して任せ、最期まで大切に

社会福祉法人 善隣会

理事長 廣瀬朱實さん

ろしく願います、と言ってくださいる方もいるんです。うれしい言葉ですよね」。

尚古園ではまた施設を社会資源の一つととらえ、施設機能を積極的に地域社会に提供していこうと、年間延べ1600人のボランティアを受け入れている。閉鎖的になりがちな施設において、ボランティアは入所者にとっても地域住民にとっても、互いに触れ合ういい機会となっている。

地域のニーズに応じた 総合的なサービスを展開

介護保険制度のスタート以来、介



● 社会福祉法人 善隣会 ●

1975年6月に設立認可を受け、76年6月特別養護老人ホーム尚古園の事業を開始。2000年2月には介護保険事業者の許可を受け、同年4月から介護保険事業を開始。特別養護老人ホームのほか、ショートステイやデイサービス、グループホームなど福祉サービスを総合的に提供している。

〒400-0001
甲府市和田町2948-6
☎0180-253-7231・FAX055-253-7228
URL <http://www.zenrinkai.or.jp>



護サービスを提供する企業や法人は大幅に増えたが、現在は淘汰の時代に入ってきている。デイサービスは既に頭打ちの状況ともいわれ、運営を断念するところも多く出ている。そんな中で善隣会のようにデイサービスからショートステイ、グループホーム、特別養護施設までサービスを総合的に提供できるところに対する支持は高い。しかし利用者のニーズは高度化、多様化してきており、経営という点で厳しい状況になってきているのも事実だ。

「今からは施設に大きな資金をかけず、それでいてニーズに的確にこたえられるサービスを提供していくことが課題です」と廣瀬理事長。昨年3月には新たに甲府市緑が丘に小規模デイサービスを開設し、さらなるサービスの充実を図った。今後はさらに泊まりで預かることができる小規模多機能のデイサービスを開設していく予定だという。

時代や地域のニーズ
に応じたサービスを積極的に展開していく善隣会は、ますます進む高齢化社会の中で、より頼もしい存在となっていくことだろう。

事業内容

- 一般貸切輸送（一般、常用、専属）
- 重量品輸送（取り付け、取り外し搬出入作業）
- 入出荷請負（荷造り、梱包作業、出向代行業務）
- 引越輸送（事務所・工場の移転、ご家族のお引越等）
- JIRコンテナ輸送取り扱い
- 一般貨物全国定期便
- 宅配便
- 航空便取り扱い
- 産業廃棄物収集運搬
- 生命保険の募集及び損害保険代理業



安心 通運の宅配便



全国を配達エリアにしているの、
たまにこんな出会いもあります。
甲府通運は環境問題にも配慮して、
慎重に皆様の荷物を運びながら、
毎日運転しています。

おっ、
キツネだ

—— 流通の基本を大切にその先へGO ——

（運）甲府通運株式会社

本社 〒409-3845 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3329-1
TEL.055-273-0611 FAX.055-273-9332
田富営業所 〒409-3845 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3211-14
TEL.055-273-5471 FAX.055-273-6277

サークル訪問

汗で育つ 感性が光る
街にめばえる文化探訪

地域に生息する蛍を守り、自然保護に取り組む仲間たち

蛍が教えてくれる 自然の豊かさや尊さ



相川地区蛍を守る会

甲府市内でも多くの自然が残る相川地区。その相川に生息する蛍を守ろうと、活動をしているグループがある。「相川地区蛍を守る会」だ。毎年6月に行っている「蛍を見る会」は、回を重ねるごとに参加者が増え地域の一大イベントになるなど、活動の輪が広がっている。

会が発足したのは平成3年。かつては近所の川でたくさん見られた蛍がどんどん姿を消していく中で、生息地の一つだった地域の側溝がまた一つ工事されることになったため、蛍が住める設計にしてもらおうと、呼びかけをしたことから始まった。

現在の活動は相川地区の川の清掃をはじめ、蛍の養殖や先進地の視察などを展開。事務局長を務める神

宮寺義仁さんは「蛍を守るには生活排水やゴミ、廃棄物、自然環境などさまざまな問題に取り組む必要があります。蛍はきれいな環境のバロメーター。活動を通して、蛍から教えられることも多いんですよ」と語る。

蛍の保護とともに力を入れている養殖活動は、当初は初めてということで「県内外に視察に出向きながら、手探りで取り組んできた」というが、蛍が見られなくなっていた川に、今では毎年蛍が飛ぶようになるなど、着実に実を結んでいる。

平成4年から続いている「蛍を見る会」は、スタート時は150人ほどだった

参加者が、今では2000人を超える人気ぶり。「蛍を見ながら、参加者一人ひとりが自然の大切さや、どうやったら蛍が住める環境を守っていけるかを考える機会になればと思います」と語る。

今後の活動について尋ねると、「無理をせず息の長い活動が続けていくことが大切だと思います。焦らず一步一步進んでいきたいですね」と神宮寺さん。

現在、甲府市内では相川のほかに数カ所蛍を見られる川があり、保護に取り組もうという動きも出てきている。相川地区の活動の輪は

ゆっくりだが、
確実に広がっ
てきているよ
うだ。



神宮寺義仁さん



◆相川地区蛍を守る会◆

甲府市相川地区の川に生息する蛍の保護に取り組むグループ。平成3年に発足し、現在会員は約120人。年2回の川の清掃や年1回の蛍を見る会の開催、養殖活動などを展開している。

会 長 神宮寺 茂
問い合わせ 事務局長 神宮寺義仁
連絡先 〒400-0012 甲府市下積翠寺町819 ☎055(251)7716

最近何人かの欧米人と親しくなりました。ある時は公園で出会った親子。またある時は野外コンサートで偶然知り合うなど、出会いは様々。彼等にとっては、はじめての日本そして山梨。その中の一人は、幼少から日本の美術に興味があったとのこと。実に色々と勉強しています。少しでも良さを紹介したい気持ちと、彼等と価値観が似ている事が相まって、山梨生活に新たな刺激が生まれました。私が目につくだけなのか、それとも生活環境に外国人が多いのか、とにかく山梨に来て英語を使う機会が増えたのは有難い事。目下の課題は語学力の向上。実に嬉しい出会いであり課題となっています。

ところで子供が生まれてから、続けてきたことがあります。それは散策。必要最低限の家事を終え、天気の有無に関わらずいそいそと出かけます。時にはお弁当を持参。場所を変えながら毎日毎日行ってきました。その結果市販の玩具で遊ぶ機会も、冷暖房を使う機会も少なく、子供は幸い健康を保って生活しています。

しかしながら問題も起きました。子供の遊び友達が実に少ないのです。「今日は体調が万全でないから」「氣候が悪いから」など、せっかく出来た子供の友達もなかなか一緒に遊べません。一方混んでいるのは、屋内での遊び場や習い事、そして一時保育。時にはキャンセル待ちするほどの混みようです。「保育園に通わせないと友達が出来ない」との理由で、早めに保育園に通わせた友人の気持ちを初めて理解することが出来ました。

～Seasons Yamanashi～

子供の遊び場

エッセイスト
深谷 百合苗

いくら毎日外で遊ばせたにしても、物心つき始めた幼児にとって、子供同志の遊びはやはり魅力的ですし、必要なこと。散歩をしていれば友達 は自然に出来るという発想は、どうやら甘かったようです。

東京で暮らせば、山梨と同じ自然豊かな環境で遊ばせるのに、常に駐車料金等、何かとお金がかかります。自然に恵まれているにもかかわらず



ず、友達作りにお金がかかる、といささか感じずにはられません。これは山梨に限ったことではないでしょう。高度な玩具、高度な知識を知る以前に、子供にはやはり自然の中で遊び方を知り、ダイナミックに育って欲しいものです。「子供に何万円ものCDを買い与えている祖父母が多いらしい。」と聞いた時は、哑然としました。私としては、水たまりで泥だらけになって飛んだり跳ねたりして遊ぶ姿の方が、子供には分相応に思えてなりません。

山梨に住み、山梨の四季のうつろいに感動して過ごす県外の私と、諸外国の友人達。地元人にしてみればごく当たり前の事柄に私たちは発見を見出し、ささやかな幸せを憶います。

「山梨は本当の素晴らしさを削いだ観光をしている」とは、山梨の野生動物を保護する仕事に就く人の意見。本当の素晴らしさを拾い集めた質のよい暮らしを、住環境を提案する身として、子育ての身として、これからも求めつづけたと思う今日この頃です。

5月5日は「端午の節句」。端午の節句の起源は古代中国にまで遡ります。古来中国では、この日に菖蒲酒を飲んで体のけがれを祓い、健康と厄除けを願いました。その風習がのちに日本へと伝わり、菖蒲、鯉、鯉のぼりなどを飾って男の子を祝う行事になりました。

節句の飾りには鯉、兜などの内飾りと、武者のぼり、鯉のぼりの外飾りがあります。武者のぼり、鯉のぼりは子どもの立身出世を願うもので、飾られるようになったのは江戸時代からといわれています。それではその歴史をみていきましょう。

江戸時代、5月5日は幕府の重要な式日に定められました。大名や旗本は式服でお祝品を持って江戸城に出向き、将軍にそれを奉じました。これ以降、武家に男の子が生まれると、門前に家紋を記した旗差し物や幟、吹き流しなどの武家飾りを立

甲州武者のぼり・鯉のぼり



て、男児誕生をお祝いするようになりました。さらに、江戸中期以降には、この風習が町人の間へも広がっていきました。しかし、町人の間では武家同様、家紋を記した幟旗を立てることは許されなかったため、武具代わりに鯉のぼりをあげるようになりました。こうして、武者のぼり、鯉のぼりは世に浸透していったのです。

山梨における武者のぼり、鯉のぼりの始まりは江戸末期くらいと伝えられています。現在、武者のぼりは「甲州武者のぼり」の名でも知られています。職人は、昔ながらの伝統的技法と知恵で、細部にまでわたる作業をてきぱきとこなし、見事につくり上げます。平成6年には山梨県の郷土伝統工芸品に認定されました。糊染めの特徴である広い線とその色は、150年の時の流れを感じさせない力と美しさを保つため、私たちを魅了し続けています。

甲州武者のぼり・鯉のぼりの作業工程

- 糊 作 り…餅米と米糠を練り、蒸してから石灰と塩を加える。
- 布 の 精 錬…木綿を熱湯に入れ、布に付着しているものを取る。
- 下 絵 写 し…江戸末期からの型紙に下からライトをあて、型紙から下絵を写す。
- 糊 置 き…輪郭線になるため細心の注意が必要。
- 豆汁を塗る…染付を良くするため。
- 染 付…顔料と膠や豆汁を加えた奈良墨を用い、江戸刷毛で染めていく。
- 色 止 め…顔料を定着させるため膠を溶かした液を散布。
- 水 洗 い…糊を洗い流す。白い輪郭線が浮かび上がる。
- 干 す…天日で干す
- 仕 立 て
- 完 成



INFORMATION

新事業所の紹介

富士見事業所 問合せ ☎055-220-3888

県立中央病院のすぐ横という立地で、医療との連携をとるにはすこぶるいい場所です。スタッフ一同意欲満々、闘志を燃やしています。



青沼事業所 問合せ ☎055-231-7007

甲府の中心地にありながら静かな住環境。中心商店街にも近く生活至便です。敷地内には温泉が湧き、



高齢者住宅では入浴が楽しめます。(ゲストルーム・菜園あり)

国母事業所 問合せ ☎055-236-5151

当事業所は2月14日に甲府南事業所から「訪問介護・支援・訪問入浴」の3つのサービス部門を分割移転しての出発となりました。職員一同気持ちを一新し、創意工夫を行い、地域密着型の事業所として、がんばります。

※4月には勝沼町に甲州事業所を開設し、県内15事業所になります。



(株)やさしい手甲府
本部：甲府市丸の内1-21-7武藤ビル6F TEL055-231-6633

保険も早野組に任せてみませんか？

早野組は、昭和54年より保険代理店業を開始して以来、常にお客様の立場に立ち、質の高いサービスを提供しています。扱保険会社は損害保険会社3社、生命保険会社3社と委託契約を結び、お客様の要望に応える様々な保険を販売しています。

損害保険

日本興亜損保(株)
東京海上日動火災保険(株)
(株)損害保険ジャパン

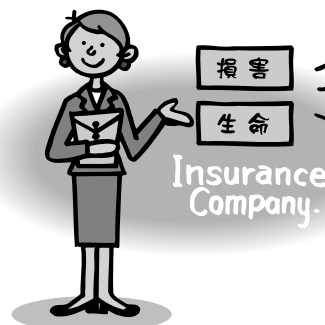
生命保険

東京海上日動あんしん生命(株)
損害ジャパンひまわり生命(株)
日本興亜生命保険(株)

※主な取扱商品

自動車保険、火災保険、傷害保険、積立傷害保険、建設工事保険、終身保険、ガン保険、医療保険等

お客様に最高の安心とサービスを与えるため、当社は保険専任スタッフを置き、企業・個人の様々なリスクに最適なプランを検討し、「真心と確かな技術」で日々サービスを行っています。



(株)早野組 本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL055-235-1111
<http://www.hayano.co.jp>

新世代のコンパクトカー「ヴィッツ」誕生。

乗る人のカーライフをより楽しく、上質に演出してくれる高いクオリティのコンパクトカー。

コンパクトカーだから

欲しかったセレブ機能。

買い物時にクルマの鍵を出しにくい体験をしたことはありませんか。そんな時「スマートエントリー」ならスマートキーを身に付けているだけでドアの施錠、開鍵がワンタッチででき、さらにエンジンの始動・停止にも面倒なキー操作が不要でプッシュスタートスイッチを押すだけという便利な機能も追加されました。

Vitz



ネットトヨタ甲斐(株)
本社：甲府市朝気3丁目10-21 TEL055-232-5511

INFORMATION

トヨタホームは「360°防犯住宅」を始めます！

チェックポイント 戸建住宅はマンションとは違います。ぐるっと安心
家の周りすべて360°が防犯ポイント



不審者の侵入を未然に防ぐ工夫を、随所に施しています。

対象物の強化

泥棒の侵入場所は、ほとんど窓とドア。窓ガラス、玄関や勝手口のドア、鍵などを強化することで、建物への侵入を直接的に防ぎます。

接近の制御

例えば、専用庭の周囲を堀でしっかり囲んだり、外から上層階へ上がれる足場をなるべく少なくしたり、泥棒の侵入経路を制御します。

自然監視性の確保

エクステリア照明の改善、街路や窓からの見通しの確保などによって、泥棒が隠れることのできない屋外にも目が届くスキのない環境をつくります。

領域性の確保

屋外活動交流を促して、泥棒が侵入しづらい環境をつくります。分かりやすくいえば、ご近所付き合いにより、常にコミュニケーションを密にしておきます。

トヨタホーム山梨(株)
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL055-275-1234 FAX055-275-7806
<http://toyotahome.medialgalaxy.ne.jp/yamanashi>

ISO14001を取得しました！

21世紀に入って、地球環境問題は一層深刻になっています。わが国に限らず、先進国は環境に調和する循環型社会の構築を目指して、法制度、社会システム、環境教育などを進めていますが、企業・組織体の果たすべき役割も大きくなっています。

甲府通運はトラック輸送という特殊性から、ディーゼル車による大気汚染や地球温暖化などの環境問題も発生しており、環境に与える影響が大きいことから、こうした大気汚染防止や省エネルギーの観点に立ち、環境に配慮した運転や整備・点検を心がけていくことが使命と考えています。

ドライバーの心得

1. 無用なアイドリングをやめる
2. 急発進、急加速、急ブレーキをやめる
3. シフトアップは早めに
4. ムダな空ふかしはしない
5. 経済速度で走る
6. タイヤの空気圧を適性に
7. エアコンの使用を控えめに



甲府通運(株)
本社：中巨摩郡田富町流通団地3329-1 TEL055-273-0611

還暦でのチャレンジ！

代表取締役 由井久夫

何時までも若いと思っていても、どうにもならないのが年齢ですが人生には節目があるものです。58歳で山梨に戻り父が創った会社「(株)ロード」を継ぐ事になりました、この機会に少しでも会社の役に立つ事にチャレンジしようと考えていたのですが、自分へのチャレンジも兼ねて「1級土木施工管理技士」への挑戦がそれでした。これまで「もの造り」の会社で生産技術開発が専門で海外工場展開を含め国内外の様々な仕事を経験してきましたが、建設業の仕事は始めてでした。

59歳で代表取締役になるのを契機に検定試験勉強をスタートしました、体力・気力共に昔のようなわけには行きませんでした、ある言葉を思い出しました。松下幸之助他多くの方が座右の銘としていたサミュエル・ウルマンの詩「青春」の一節「青春とは人生の一時期をいうのではなく、心の有様をいうのだ・・・」つまり「青春とは心の若さである信念と希望にあふれ、勇気にみちて日に新たな活動をつづけるかぎり、青春は永久にその人のものである」と、この言葉を信念として半年間頑張りました、ウィークデーは原則として朝5時に起きて1時間テキストや過

去の問題集の勉強を繰り返してやりました、休日にもゴルフを少し控えたりして半日をそれに当てました。学科試験は6割を取ることを目標に重点思考をしました、実地試験は[工程管理][安全管理][品質管理]の論文を徹底的に試験日の直前まで毎日紙に書いて暗記をしました。

還暦になって大学の受験勉強に近い経験をやり、合格できたことは運が良かったと思いますが、このおかげで社員にも資格に挑戦を!と遠慮なくいう事が出来ます。試験会場は東京でしたが圧倒的に若い人が多く、50過ぎのシニアクラスの人は2割位でした、又若い女性もチラホラと目に付きまして。こんな中で挑戦して自信は有りましたが何とか合格できました事は皆さんの挑戦の参考にもなるのではないのでしょうか。目的意識を強くもち目標を掲げて計画的にコツコツやる事できっとよい結果が得られるはずですよ。何事も王道は無いようです、結果は後から付いてくるという事でしょうか？

終わりに企業は「物を造る前に人を創る」と松下時代に良く耳にした言葉ですが、早野グループに籍を置くことになってからも、この事(教育訓練や資格取得)を大切にしている雰囲気を感じていました。お互いにこれからも頑張りたいと思います。

(株)ロード 本社：甲府市下小河原町262番地 TEL055-241-6161(代)
FAX055-241-6118 e-mail uproad@pluto.plala.or.jp

武田信虎の娘として、穴山信友に嫁し 南松院を興した人 その生涯を追ってみる

南松院 葵庵理誠尼

(なんしょういんきあんりせい)

上野 晴朗

うえの はるお
1923年山梨市生まれ 歴史家・作家 県立図書館郷土資料室
を経て67年から文筆活動に入る 著書に「甲斐武田氏」等多数



身延町下山の南松院 南松院夫人の菩提寺として有名



南松院の用いた食器・木碗



穴山信友夫人 南松院肖像画



南松院の池に浮かぶ亀
父信虎がもたらしてきたと伝える



南松院の墓 同寺にある

南松院開基として知られる穴山信友夫人は、武田信虎の第二女といわれる。信玄の腹違いの姉にあたり、穴山信君(梅雪)を生んでいることで有名である。第一女は今川義元夫人であるが、その逆だという説もある。

信友夫人は、生年月日は明らかではない。永禄9年(1566)4月25日に逝去しているが、法名を南松院殿葵庵理誠大姉という。墓所は下山南松院(身延町)の中にある。京都天竜寺の名僧といわれる策彦周良を師と仰いだ夫人は、策彦が弘治乙卯の年(実際には翌二年か)に、甲斐の恵林寺に入山して翌三年帰洛の途次、下山の夫人のもとに挨拶に伺ったおり、夫人は請うて「葵庵理誠」の法号を授けられたのだという。南松院には「葵庵法号記」というの

が残されている。

夫人は国志によると、内藤氏の出とあるが詳らかなことは判らない。信虎五男の信基(上野介)と同母といわれ、一系に内藤山城守昌国妹也としてあるが未考としており、国志も慎重に取り扱っている。

また穴山信友に嫁いだ年代も明らかではないが、一応絞ってみると、天文6年(1537)2月、第一女が今川義元に嫁しており、第三女が天文9年(1540)11月に諏訪頼重に嫁しているの、その間の天文8年(1539)ころと見れば無難かもしれない。南松院を訪れると、美しい庭があり、池中に亀石というのがある。伝承によると父信虎が娘を穴山信友に嫁がせる時、持たせてくれたのだという。信虎にもそんな優しさがあったのだ

ろうか。また池の縁には鶴石というのものもあるが、これは後代に当てはめたらしい匂いが強い。

夫人は穴山信友と結婚すると、やがて嫡男信君(幼名勝千代)が誕生した。天文10年(1541)のことである。それまでに信友には男の子に恵まれなかったの、それこそ夫人とともに手放しの喜びようで、翌天文11年(1542)1月1日に当歳の勝千代の無病息災を祈って、下山の一之宮、二之宮に田畑を寄進している。さらにその年の12月には、駿河分であるが芝川町内房にある富士浅間神社の社殿を、勝千代の名前で造営し、嫡男の至福を祈念している。

信君の面影を見ると、美人のほまれ高かった母親似で、夫人の匂いばかりでなく、その薫陶も母から徹底して受けたらしく、その人となりは文武に秀で、風雅を解して外交も巧みであったから、天正期に入ると武田勝頼を圧して、その威望は東海地方にまで高まったのである。

このような経緯の中で、南松院夫人は信君を育てたのであったが、その息子の雄飛する姿を見ることもなく、永禄9年(1566)他界してしまった。この穴山信友夫人の肖像画が、下山の南松院に蔵されている。絹本着色、作者は不明であるが、信虎の夫人、大井夫人の画像と、いくつかの技法上の共通点が認められる。岩絵具の色も似ているので、私は武人画家の武田信廉が、異母姉のために絵筆を取ったのではないかと推定したこともあった。(「原色武田遺宝集解説」)

絵の賛は恵林寺にも住した、京都妙心寺の天桂和尚が、永禄9年(15

66)12月上旬に画賛している。絵は薄青の頭巾をかぶり、法衣をつけ、緑色の絡子をつけた比丘尼姿で、右手に数珠を持っている。

天桂の画賛によると、葵庵尼(南松院)が永禄9年(1566)4月25日逝去したので、嗣子の穴山信君が直ちに母の面影を描かせて、天桂和尚の賛を求めたのであった。天桂はその画賛の中で夫人を最大限にほめたたえ、容姿は仙女馬郎婦を思わせるほど美しく、眼は総持尼(達磨の弟子といわれる)のように聡明そのものだったとたたえた。

実際に肖像画を見ると、尼僧姿と



穴山信友夫人が身近においた法華経8巻
(南松院所蔵)

いいながら、なんとも云えない艶麗な美しさをたたえ、美人の誉れ高かったことを窺わせる。享年45〜6歳か。

南松院には夫人の日常使用した遺品が幾つか残されているが、その中に身辺にたえず置いていたといわれる、法華経8巻がある。夫人は信仰心がきわめて厚く、看経仏を身辺に置き、読誦用にこの経巻を用いていたのだという。穴山梅雪は永禄9年(1566)母が亡くなった時、下山に南松院を開創して桃隠和尚を開山とし入山してもらったのであるが、その時母の遺愛品の多くを当寺に寄進し

たのだという。

その中には茶釜一、陶皿大小十八、木盆朱塗金蒔絵十、朱膳十などがあったと記録されている。しかし今はほとんど無くなっており、写真のように食器の木碗だけが残されている。大小同種の模様で、大碗はとくに胴張りが大きく、高台はきわめて高く雄大である。黒漆塗りに金蒔絵と漆絵をもって、松と笹の葉が図様化してある。一般に地方産の碗類には奥州南部の秀衡碗、周防の大内碗が有名であるが、この碗は図様と形からいって、秀衡碗に属する。元来この種の碗は消耗品として遺品がきわめて少ないものであるが、その希少価値を示すものとして貴重である。

このように葵庵理誠尼の生涯は、河内の穴山家を支え、夫を援護して武田の支族として着々と勢力を敷衍して、河内領を支配する国人領主として、武田家から厚く遇されたのであった。また結婚の初めの頃は河内の南部に住していたが、河内の一円支配が完了すると、居を下山に移してさらに勢力を拡大したのである。

また子息信君が一段と強力で国人領主化の道を歩み、さらに母が武田家から嫁いできたと同様に、自分もまた信玄の娘見性院を娶って、親子二代にわたって武田親族衆の地歩を固めたのである。信君は母の影響を受けて文化的教養も高く、また学識も深かったの、甲斐国志は「筆法も見事にて好事の趣あり」と評している。母の影響から茶道などにも造詣が深くなって、京都から茶室に使う土石を運んできて庭を造ったほどである。

抽象絵画の創始者

現代美術、と呼ばれるアートがあることをご存じのみなさんは、いったいどれくらいの割合でいるのだろうか。もっともそういうジャンルが生まれてからまだ1世紀少ししかたっていないわけで、なじみが少ないのかもしれないのだろう。現代美術というよりは抽象絵画、という言い方のほうが知られているのかもしれない。具象絵画に対して抽象絵画。その創始者と呼ばれている芸術家がヴァシリー・カンディンスキーだ。カンディンスキーは1866年にロシアに生まれた。日本では明治が始まる少し手前。

彼の有名なことばを一つ紹介しよう。「色は鍵盤であり、眼は和音である。そして魂は多くの弦をもつピアノなのだ。芸術家とはそれを弾く手のことで、あちこちのキーを触って、魂のうちに振動を生じさせるのである。」

そうか、そういうことなのかと、いっぺんにうなづけそうなことばだ。カンディンスキーに衝撃を与えた芸術家はモネである。印象派の、あのモネだ。カンディンスキーは、1896年、30歳の年にモスクワで開かれたフランス印象派絵画展でモネの《積みわら》の連作を見たのだ。モネは偉大である。当時モスクワ大学で教鞭をとっていたカンディンスキーは、数カ月後大学をやめてミュンヘンに向かい、芸術家としての道を歩みはじめることになる。このとき、すでにこの女性と結婚していたから、よくよくのことだったはず。芸術への思いは深かった。

抽象絵画の見方、楽しみ方を教えてくれる

ヴァシリー・カンディンスキー (一八六六～一九四四)

ボクのアート品観察日記

山本育夫

25

具象から抽象へ

印象派との出会いの後、具象画から抽象画へと変化を見せていくことになるわけだが、ということはつまり、抽象画の背景には、それなりの具象的な世界が潜んでいるということになる。そう考えると謎ときのようなおもしろさが生まれて来る。どうしてそこまで無理しなければなら

いの？めんどくさいじゃないか、という向きもあろうかと思うけれど、そのめんどくささのかわりに、「色は鍵盤であり、眼は和音である。そして魂は多くの弦をもつピアノなのだ。芸術家とはそれを弾く手のことで、あちこちのキーを触って、魂のうちに振動を生じさせるのである。」という自由自在のように見える世界を入手したと考えると、まあ、それも悪くはないかもしれないぞ、ということになるわけだ。

具象から抽象へと歩んでいく過程の二点を紹介しておこう。《教会のあるムルナウ1、2》(1910年制作)だ。

描かれた教会や山並みが次第に抽象化されていく様子がおわかりいただけるだろう。そして翌1911年に描かれた《コンポジション4》に至るとさらに抽象化が進んでいる。この1、2年の間にカンディンスキーに訪れた強い抽象化への思いが理解できるはずだ。

戦争の時代

そして、1914年に第一次世界大戦がぼつ発する。

すでに1904年に最初の奥さんと離別していたカンディンスキーは、1917年に再婚。1920年には再びモスクワ大学で教鞭を取るようになるが、共産主義体制に認められずベルリンに向かい、ヴァルター・グロピウスのもと、ワイマールのバウハウスで教師となり、1933年にナチスによりこの学校が閉鎖されるまで教職を続けた。

共産主義体制下では、彼の抽象は理解されなかったのだろうが、そのおかげでというかバウハウスとい

う歴史上希有な学校と巡り会うことになるわけで、人生捨てたものではない。何かを失うことは、実は何かを得ることのはじまり、でもあるわけだ。そう考えるとリストラされたみなさんも落ち込むことはない。リストラとは新しい人生へと背中を押してくれること、と理解すればいいからだ。

抽象画の効能

今、カンディンスキーの抽象を改めて見てみると、確かに具象的な世界で

は味わえない驚きがそこには展開されていることがわかる。ジャズを聞いているような自在な色彩の鼓動、どことはわからぬ心の奥底の場所で、不意に現われる音楽にまきこまれ、引き込まれ、いつの間にか自分自身も中空を漂っているような気持ちになる、世界。考えてみると、カンディンスキーの絵画は、ヴァーチャルな異空間でのすばらしい体験を味あわせてくれる絵画なのだ。

それでいて描かれている点や線

や色彩の向こう側には、どこか懐かしいふるさとロシアの具象的な世界が見えかくれしている。こうしてみるとカンディンスキーは、具象画よりはるかに具体的に、体感的に、ロシアの世界を描いていたことがわかって来る。

というわけで、もしどこかで抽象画を見る機会があったら、カンディンスキーの抽象を思い出しながら、しばらくその世界を味わってみていただきたい、と思います。



カンディンスキー



教会のあるムルナウ1



山並み



教会

人家



コンポジション4



教会のあるムルナウ2

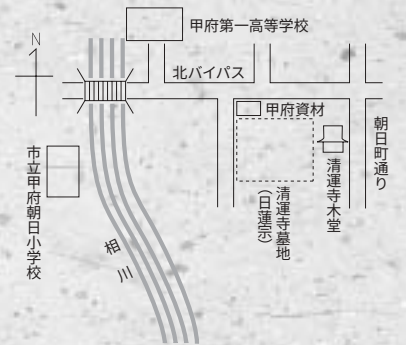


明治維新という日本の国の、何から何まで一度にひっくり返ってしまった日本の大変革の時期に、県内にも平常の平和をおびやかすような事件の兆しが現れてきていた。坂本龍馬といえは日本の歴史の上に大きな影響を与えたことは、周知の事実であるのでその経緯はここでは控えるが、ともかく、ここに登場する人物、千葉さな子と龍馬について記したい。

さな子は、当時江戸で有名な北辰一刀流の道場主千葉定吉の次女として生まれる。定吉はかの有名な北辰一刀流の祖千葉周作の弟である。そんな環境で育ったさな子も相当腕の立つ女傑であったという。そのさな子が、剣術修行で江戸に出てきた坂本龍馬と出会うことになる。父定吉も二人の結婚を許すほど龍馬を気に入っていて、さな子も龍馬を慕っていたことが残る手紙からも察せられる。その後龍馬は幕末の歴史の舞台で非業の死

ふるさと意外史(4)

明治維新の立役者坂本龍馬にひとりの奥方がいた



山梨県民俗研究者
(元県ことぶき勤学院大学院民俗コース講師)

志摩 阿木夫
しま あきお

を遂げることになるわけだが、さな子の龍馬に対する想いは変わることなくその後、明治二十九年五十九歳で亡くなるまで龍馬を想い静かに晩年を過ごすのである。

そんな千葉さな子の墓所が甲府市内にある。時の有力者小田切謙明なる人物が中風の病の治療のため、懇意にしていた板垣退助に紹介されたのが、その時東京の千住で開業していたさな子の治療院であった。

小田切家とさな子の付き合いはそれからも続き、謙明の妻がさな子の没後分骨して小田切家の墓に埋葬したという。

甲府市朝日町の清運寺にあるさな子の墓碑には「千葉さな子墓」と、裏には「坂本龍馬室」と刻まれている。波乱に満ちた幕末乱世で、成就できなかった龍馬とさな子に思いをはせると、さな子の江戸気質の一途な女性像が浮かび上がってくる。

天保の大飢饉

難工事にもめげず8年

御岳新道開発の偉人

長田円右衛門

講(たのもしこう)無尽を立て、全村から五十両を捻出した。もちろん私財もはたいて、工費にあてた。もっとも困難を極めたのは、「ツルシ岩」と呼ばれる仙娥滝下の削岩工事だった。火薬などは用いず、ひたすら人力で岩を削り取る作業である。

しかし、天保七年六月、無

せと騒ぎ出した。円右衛門は自らの田畑を抵当にして金十両を借り、返済にあてた。工事が再開されたのは、三年後の天保十年、甲府代官所の猪狩村巡視がきっかけとなった。円右衛門は工事再開を要請し、代官の許可のもと、各村の共同分担で工事を進めることも決められた。三十カ村が寄付金を出し合い、義務人足を出すことになった。

山梨県にこんなところで
思いがけない場面で見
ふるさと再発見

日本一の渓谷美、御岳昇仙峽への道を開いたのは、猪狩村の農民・長田円右衛門である。計画は天保四年(一八三三)、着工は翌年の十二月二十二日。円右衛門のとき三十九歳。新道開発は、もとより観光のためではなく、猪狩村の農産物や木炭、薪などを甲府へ売りに出るための産業道路である。

慈悲にも梅雨は長引き、荒川

は氾濫、掘り進めた約四十メートルの道路は流失してしまふ。甲州は凶作で、大飢饉となり、天保騒動といわれる百姓一揆が起こった。猪狩村、周辺の村々の家も、田畑も流れ去った。

新道の復旧工事どころではなくなった。おまけに農民たちは、頼母子講の立替金を返

源平の合戦に出陣

「武田有義とかんかん地蔵」

田中尚純 著



甲斐源氏を率い、源平の合戦に出陣。武田氏の始祖・武田信義の長男、武田有義の生涯と法輪寺縁起。

武田有義は、武田氏の開祖・武田信義の長男で、甲斐源氏を率い、源平の合戦に出陣した名将。有義には三人の弟がいるが、ひとり是一条小山、いまの舞鶴城に館をおいた一条忠頼、ひとりはいまの里垣、板垣郷に館をおいた板垣兼信、もうひとり、石和に館をおいた石和信光。いずれも名だたる武将だ。

有義は平家の全盛時代、十代で都に上り、平清盛の長男・重盛に仕え、その太刀持ちをつとめる。しかし、源平の勢力争いが激しくなり、甲斐源氏が源頼朝に請われ、挙兵したことから、やむなく平家追討の軍を率いることになる。胸中は複雑だ。平家が滅亡し、鎌倉幕府が成立すると、頼朝は功績のあった甲斐源氏の力を恐れ、不安となり、忠頼の殺害をはじめ、有義の親兄弟を次々に討った。ついに、有義は頼朝と敵対することになる。

著者は、武田有義の墓所のある甲府市丸の内、法輪寺の住職・田中尚純。これまで知られることのなかったふるさとの名將に光をあてて。(川)

発行 光明山法輪寺 甲府市丸の内三二七-一三
電話 〇五五-一二二八四-一四

¥1,800+税



身延町西島の集落と富士見山の全景

山頂展望台に咲くミツバツツジと残雪の富士展望



コース途中に立つブナの大木がハイカーを迎えてくれる

ことに傾斜が増してくる。樹相もミズナラなどの落葉樹になってきて、見事に年輪を重ねたブナもかなり見られる。

石段を登ってコースに入る。最初はスギとヒノキの木立の中で傾斜もゆるいが、尾根の南を巻き北へ移り、また南面へと変わる

き地に置かせてもらう。コースに入る。最初はスギとヒノキの木立の中で傾斜もゆるいが、尾根の南を巻き北へ移り、また南面へと変わる

国道五十二号を下り、鯉沢町から身延町に入って間もなく、西島バイパスの右手に横たわるのが富士見山である。標高が低い割には、大きな山だ。山麓までの交通機関は特にないので、マイカー使用を前提とする。



富士見山周辺図

【参考タイム】

国道52号 (車25分)
↓
平須登山口 (2時間40分)
↓
山頂展望台
下りは1時間50分

左手に大ガレを見ると稜線も近い。一六二七メートルの標高点付近に登りついて左折、一〇分ほど尾根道を歩くと岩のある展望台に着く。毛無山塊の上の富士山、眼下には富士川の流れ。振り返れば南ア南部の山々が一望に収まり、遠く白根三山までも見える。

三角点は往復一時間先だが展望には恵まれないし、他に見るものもない。また帰路を少し北にとつて、堂平のやすらぎの宮わきに下るコースもあるが、歩きにくい。

甲府通運前史を訪ねる(25)

〈甲府通運のページ〉

昭和

昭和三十七年(一九六二)八月十二日の『山梨時事新聞・日曜訪問』に甲府通運株式会社

の創立者である早野欽介前社長の記事がある。当時の山梨県内有力者の仕事をはなれた日常生活を紹介したものである。今回はその記事により早野欽介前社長の一面を紹介しよう。

まず「早野さんの略歴として「大正元年(一九一二)十一月二十日甲府に生まれる。病弱のため学校は甲府中学(現甲府一高)でやめ、静養のかたわら釣り、小鳥などに趣味をもつ。父の欽三(註:金蔵が正しい)が七十三歳で死去、同時に土建業をやめ運送業をいとなむかたわら酒折町郵便局長をつとめる(以下、略歴と家族の紹介が続く本文となる。)」

●早野さんといえば非常に多趣味の人だとうかがっています。が、俳句もおやりになっているそうですね。



自宅の庭先での早野欽介氏(同日の山梨時事新聞記事より)

甲府通運創業早野欽介「忙中閑あり」趣味を語る

林 陽一郎

はやし よういちろう
甲府市教育委員会文化振興指導員・山梨郷土研究会

●最近も句作していますか。さっぱりです。俳句を作るとい

うのは環境ではなく努力ですね。作っていないとダメです。●釣りのほうもなかなかだそうですが、海と川と湖での釣りのダイ「味はどうですか。海づりの爽快さというようなものは

そりや、みんな同じですよ。魚をひっかけた瞬間の気持ち、釣りの行動はみんな同じだ。金魚つりでもひっかったときの

の気持ちは同じでしょう。●海づりを一年半もぶつづけでやったという話を聞きました

が。いや、あれは実は身体が悪くて静浦で静養していたときですね。はじめどうしても魚がひつかからないので、よし、それならというわけで毎日毎日、こ

つちも意地づくでがんばったのが誤り伝えられたのでしよう。でも釣りはいいもんですね。「鮎釣るや一竿に瀬を感じ」の心境ですよ。●目白やウグイスもたくさんお飼いになっているそうですね。目白は自分で山に行つて捕ってくるんだそうですね。それに目白は一年たてばみんな山に放してしまうと聞きましたが。―とくに私だけが目白やウグイスを飼っているというのではないですよ。趣味はみんなだれでも同じで、山から目白を捕ってくるのもみんながすることです。一年で山に放すというが百羽に一羽ぐらいしかいい目白はいませんね。(中略)

●自宅のすぐ横にある「講早野家宅地内三樂荘は戦前は割烹旅館として有名でしたが、環境といい、レジャーの時代といい閉めたままではもったいないようですが再開する気持ちはありませんか。

―私は旅館業はキライでしてね。近くつぶしてしまふ考えです。アクセクしてもしようがないですよ。(以下対談は甲府中学時代のこと、政治家に望むこと、青少年の考えや行動について

ユーザー訪問 株式会社石友

山梨県が推進した、ファッション都市構想で誕生した「アリア」。

株式会社石友は、その「アリア」に拠点を置いている。

その中でもひととき目を引く社屋は、ゆるやかな曲線のフォルムに、近代的かつモダニズムの雰囲気デザインされ、社屋全体が洗練されたモダンな美しさを出している。

同社は、業界では珍しい一貫した生産ラインをもち、製品の80%を社内の製造でまかなっている。社員とパートを含め80人の宝石・貴金属輸入製造卸。社内は明るい笑顔と、礼儀正しい挨拶で、会社の前向きな業務姿勢が会社全体に表れ快活な雰囲気に包まれている。

山梨県は宝石・貴金属の製造卸業のシェア日本一。地場産業としても古くから栄えてきた。

当然、取引業者は全国に点在し、営業マンは忙しく全国を駆け回る。そこで、活躍するのが足回りにも自信のあるトヨタ車。商談や製品の納品など活躍する場は多い。車種も用途に合わせて、セダン・ミニバン・SUVなど合わせて10台が活躍。日本中、九州までも車で移動、抜群のフットワークで対応している。全ての車のトランクは外から鍵が開かない様に、盗難防止の対策もシッカリとられ、特別仕様



となっている。

県内ではアウトソーシングの形態で業務を続ける業者の多い中、石友はより高い技術の一貫生産ラインを保持し続け、長期的視野で技術者やデザイナーの育成にも力を入れ、最新技術の導入にも積極的に取り組んできた。

「より確かに、顧客のニーズに応える事が宝飾業界の発展につながる」と、流行の発信基地としての役割、そして時代をリードする確かな理念と自信がうかがえる。

業界への思いを語る松葉社長の言葉は、常にハイオリティーな製品を送りだしてきた全社員の言葉でもある。

社員一同、ダイヤモンドよりも硬い結束で、次世代の宝飾業界を支えて行く熱い思いにさらなる活躍を期待したい。

◆ Data ◆

株式会社 石友 山梨県甲府市川田町アリア106
TEL 055(220)1711(代) FAX 055(220)1777

高い技術と一貫した生産ラインでよりの確に時代のニーズに対応 山梨の流行発信基地

お家訪問 渡邊統さん宅（韮崎市）

街中を流れる川沿いにある住宅地。その中でひととき目を引く家がある。黄色を基調とした明るいツートンの外壁と洋風の瓦屋根、お洒落なサイディングが印象的な渡邊統さん(41歳)宅だ。

「細部にまでこだわり、図面を20回以上も書き直してもらった」という「シンセ・スマートステージ」は、随所にオリジナリティがあふれている。玄関は吹き抜けの開放感ある空間。リビングダイニングは「家族5人がいつも集まる団らん場所に」と、41坪というゆとりの広々設計だ。壁の一面だけに使ったタイル素材は空気清浄などの効果があり、部屋のアクセントにもなっている。

1階にはほかに奥様が師範を持っているアートフラワーの教室用の部屋もある。家族の居住空間に踏み込まないように、玄関から直接入れる専用の



入口を設け、独立したスペースにしている。壁の一面をあえて造らず、廊下とつながる



オープンな部屋だが、家族のスペースが見えることはない考え抜かれた設計だ。



2階はご夫妻の寝室とお子さん三人の部屋、浴室と洗面所がある。「着替えをするそれぞれの部屋が2階にあるので、お風呂も2階の方が便利ですね」とご主人。

子ども部屋は現在は長女の采さんの部屋1室と、次女の桃さんと長男の柊くんの2人の部屋1室になっているが、将来的には桃さんと柊くんの部屋は仕切れる造り。さらに女の子2人の部屋は、柊くんの部屋を挟んでいるが、ロフトで行き来できるという凝った造りになっている。

また廊下の手すりには、バレリーナを目指し頑張っている采さんと桃さんのバレエの練習バーに、さらに壁面は本棚として利用するなど、限られたスペースをうまく活用している。

「営業の西村さんが熱心に要望を聞き、実現してくれたので、満足のいく家ことができました」と喜ぶご一家。「家族みんなが自然と集まってくる」というリビングでは、今日も明るい笑い声が響いていることだろう。



オリジナリティあふれる設計 リビングにはいつも家族の笑顔が

不動産のプロとして

「どんな相談にも乗ってもらえそうな、頼りがいのある人」。初めて会った人は、きっとそんな印象を受けるに違いないその人は、早野組開発室の門馬公秀さん。周りの人まで自然と明るくしてしまう、魅力的な笑顔と笑い声の持ち主だ。

門馬さんは甲府市愛宕町にある宅地分譲地「グリーンヒル愛宕」を担当している。甲府の街を一望できる高台にあり、全区画で温泉も楽しむことができる分譲地。「平均約140坪というゆとりある広さと、平地では味わえない見事な眺望、豊富に湧出している温泉が自慢です」。開発から携わってきている唯一の人とあって、この地の魅力を知り尽くしている。

平成15年7月の分譲開始から、現

地案内所で訪れるお客さまの対応もしている。「私たちの仕事はお客さまに夢を売る仕事だと思います。宅地、住宅の購入は大きな買い物ですからね」。そんな夢を壊さずに、実現させるために奔走する毎日。「夢を追いかけては家を建てることはできません。不動産のプロとして、お客さまのニーズをしっかりとつかみ、一日でも早く夢を現実のものにできるようお手伝いしています」。

販売後も続く信頼関係

家を購入するのに大事なものは、実はタイミングだという。土地の購入から家の建設まで短くても一年近くかかってしまうもの。その間、気持ちを維持していくのは大変なことで、熱が冷めないうちにテンポよく進めることが、いい家づくりにつながるという。「そのタイミングを逃さ

ずうまく進められるように、住宅ローンについても相談に乗り、アドバイスしています」。

宅地、住宅は販売したら終わりではなく、その後のフォローも大切な仕事だ。「現地事務所には、既に住んでいらっしゃる方が相談に訪れることもよくあります。いろんな相談があり、時には即答できないこともあります。頼りになる担当者があることも、安心して暮らすための重要なポイントといえそうだ。

平成20年までの完売を予定しているという「グリーンヒル愛宕」。近く第三期の分譲も始まり、忙しさは加速しそうだが、「これからみなさんが住みたいと思う住宅地をどんどん供給していきたいですね。グリーンヒル愛宕の見事な眺望もぜひ見にきてください」と門馬さん。そのあふれる笑顔とパワーで、これからも頼もしい活躍を続けてください。

お客さまの夢の実現に奔走

早野組開発室
グリーンヒル愛宕担当

門馬 公秀さん（田富町）



介護保険情報

介護保険ABC

— 安全で住みやすい住宅改修を —



年齢を重ねると、家庭内でもちょっとした所でよくけたり、つまずいたりする事が多くなってきます。高齢者が家庭内事故で亡くなる確立は交通事故より高いのです。今回は介護保険を使った住宅改修をご紹介します。

◆ 手続きの流れ ◆

要支援/要介護1～5の認定

ケアマネジャー等に相談

施工事業者の選択・見積り依頼

施工事業者との契約

工事の実施

工事費用の支払い（全額）

市町村へ申請

住宅改修費の支給（費用の9割）

※市町村によっては手続きが異なる場合があります。

介護保険が適用される 住宅改修対象項目

- 1 手すり取り付け
- 2 床段差の解消
- 3 滑り防止および移動の円滑化等のための床材の変更
- 4 引き戸等への扉の取替
- 5 洋式便器等への便器の取替
- 6 その他（1～5）の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修（例：手すりの取り付けのための壁の下地補強 等）

住宅改修費用… 介護保険では、要介護区分に関係なく、上限20万円まで住宅改修費が支給されます。支給額は、実際の改修費の9割相当額で、支給限度基準額の9割を上限とします。

（例：改修費21万円の場合、20万円の9割である18万円が支給されます。）

支払いは……… 工事にかかった費用を利用者が一旦負担し、必要な書類を市町村へ申請します。その工事内容が対象項目と認められた場合、利用者に住宅改修費用が支給されます。（ケアマネジャーへ相談する事が一般的です。）

☆ 専門家の目で見る事がポイント

住宅改修の第一歩は日常生活の中で不便・不自由な動作は何か、その原因をしっかりと捉えることです。また、杖歩行・車イス使用等、利用者の身体状況により改修内容が異なります。その解決には医療・保健・福祉の専門家、また理学療法士や作業療法士・福祉住環境コーディネーター等の意見を聞いて、住宅改修方針を立てるようにします。利用者や介護者の意見を十分に反映させ、安全や利便性に配慮し、自立した尊厳ある生活が自宅で継続できるよう検討することが重要です。更に家具の配置を工夫したり、福祉用具の利用を組み合わせるにより、本人の自立度を高め、介護者の負担を軽減する住宅環境が実現します。

おやおや困ったどうしよう？/こんな時お電話ください。



高齢者のための相談窓口

安心電話

055-232-0808

www.arms-net.com/anshin/

おやおや
『安心電話』055-232-0808

「安心電話」は、高齢者に必要な介護・住まい・外出・食事など在宅生活の心強いパートナーです。お電話1本で相談に応じ、サービスの紹介をいたします。登録に際しての費用は一切かかりません。いざという時のために、ぜひ登録ください。会員登録者には、『安心電話』の電話番号のステッカーと詳しい説明資料をお送りします。

<「安心電話」は協同組合山梨安心サービスが提供しています>

<http://www.arms-net.com/anshin/>

介護保険に関するご相談は TEL 055 (231) 6633

住宅介護のヒューマンケアサービス
やさしい手甲府



<http://www.yasashiite-kofu.co.jp>

バランスのいい家庭の味を
お手ごろ価格で味わえる店

ごはん処 大戸屋 和戸店



「家庭の味」
をリーズナブルに、手軽に
味わえる店といえ
ばここ。
シックな色合いを基調にした店舗は、落ち着いた家庭
的な雰囲気、家族連れやサラ
リーマン、学生はもちろん、女性
一人のお客さまにも人気だ。
「お母さんやおばあちゃんなど
台所を預かる人の気持ちを込め

た」という料理は、健康面も考え、
栄養価の高いものをバランスよ
く組み合わせたものばかり。定
食は三十種類以上もあり、どれ
もお手ごろ。特選大戸屋ランチ
は五九八円とうれしい値段。井
ものや期間限定のメニューもあ
り、多彩な味わいを楽しめる。



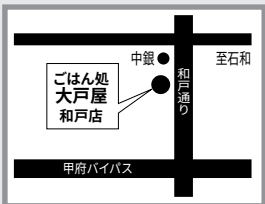
お話は小林店長

つまみ系
もそろって
いるので、
会社帰り
にちょっと
酒類、お
味ならでは
ないけれど、
飽きのこない
おいしさを、い
つでも気軽に
味わえるのが
うれしい。



落ち着いた店内

営業時間 10:00～23:00
(ラストオーダー22:30)
定休日 年中無休
所在地 甲府市和戸町555-1
TEL055-232-0108



人形の 皇徳

豊富な商品が並ぶ
県内最大級の節句人形店



今年一月に移転オープンしたばかりの節句人形専門店。県内最大級の百八十坪の売場には、色鮮やかな武者のぼりや鯉のぼり、華やかな雛人形の数々が並んでいる。驚くのはなんと、とても、その商品量の豊富さと価格。鯉のぼりは百種類以上、雛人形は五百種

類以上あり、メーカーからの直接仕入れにより、格安の値段で提供している。作家ものやオリジナルのものも扱っていて、雛人形は着物の生地を選ぶこともでき、お気に入りのブランドのスカarfで、自分だけの雛人形を注文する人もいます。人形も小物類も単品でも購入で

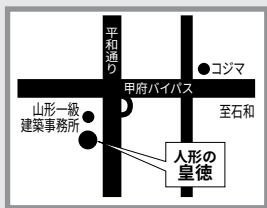


五月の節句はもうすぐ。「何年も飾るお祝いのもので、強度の高い綾織の生地で、さめにくい顔料を使ったものを選ぶといいですよ」と坂井敏郎代表。どんな予算にも応じられる幅広い商品が揃っているの、ぜひ一度のぞいてみては。



きるので、気に入ったけど高価で手がでないというものを少しずつ揃えていくなんていう楽しみ方もできる。

営業時間 10:00～20:00
定休日 シーズン中は無休
オフシーズンは要問い合わせ
所在地 甲府市中小河原1590
TEL055-243-5033
FAX 055-243-5032



某月某日

絶対的な安全ってこの世にあるの？ 日本の安全神話は崩壊したか？

×月×日

去年は災害が多かった。連続で台風が襲来したと思ったら、寒くなりかけた頃に中越地震、年末にはなんとスマトラ沖の巨大地震と津波である。今年の冬は豪雪も追い討ちをかけている。通り魔的な殺人事件もあるし、不可解・不条理な殺人事件、果ては歩行中に酔払い運転に突っ込まれることさえある。「空から隕石が降ってくるかもしれないし…」とここまでゆくとやや被害妄想的であるが、我々ほどの程度の危険を「危険と認識」するのであろう？

我々の「確率」に対する認識は、不安定かつ愚かである。例えば、交通事故で死亡する確率を数万～数十万分の一(年間交通事故死者／人口)とすると、狂牛病に罹って死亡する確率は一億分の一以下となるにもかかわらず、昨年の狂牛病騒動では焼肉屋さんの閉店が相次いだ。自動車よりはるかに安全な

飛行機に「怖くて乗れない」人もいる。

我々は「危険(リスク)」を、確率という真実でなく、感覚的にしか理解できない。鋭い人もいれば、鈍い人もいるのである。加えてこの「感覚的な危険の認識」は、「恐怖」によって容易に増幅することができる。起こってしまった悲劇を強調し、TVメディア等が反復して人々の心に恐怖を植え付ければ、容易に操作が可能である。

凶悪犯罪が増加し、学校も新幹線も「安全神話」が崩壊したと言われる。確かに犯罪の手口は巧妙化・複雑化しているが、再考する必要もあるであろう。「日本が安全でなくなった」のではなく「我々の危険に対する感覚が増幅されているのではないか？」と。何故なら我々の信じていた安全神話は、あくまで「神話＝有り得ない事」だからである。

出生率の低下がもたらす物 移民大国日本は可能か？

×月×日

日本の出生率は、非常に低い水準にある。知り合いの女性によるとその原因は、「女性にとって子供を産むと社会的に不利だから」だそうである。その点について議論しても、フェミニストの彼女には敵いそうもないので、「移民」という観点から人口問題を切ってみた。

実はアメリカの出生率もさほど高くはないのであるが、出生率の低下はそれほど問題となっていない。むしろ問題なのは「富裕層には子供が少なく、貧困層に子供が多い」という事の方である。その理由は、人口増加は「移民」によって容易に解決できるからである。ヨーロッパでも同様であり、経済水準の高い国へ労働人口の流入という過程を経て移民が発生する。

過去の日本では、他のアジアの地域からの「移民」が大きな役割を果たした時代もあった。記紀以前の時代に文化・技術の紹介者「帰化人」として、明治維新以降欧米に蹂躪された中

国大陸からの避難者・労働人口として等である。しかしながら現在の日本でアジアからの「移民」による労働人口を当てにすることはできない。医療・失業保険といった社会保障制度がそれを許さないだろうし、まず中国において経済発展が目覚しく、逆に周辺アジア諸国から中国へ移住することを考える時代となっている。

世界的にみると日本の社会は未だに閉鎖的で、民族的にも単一的である。田舎に行くと、アフリカ系の人々は好奇の目にさらされる。しかしながら20～30年後の日本にとっては、労働人口の流入は不可欠である。果たしてどの地域から流入するのであろうか？中近東・アフリカは、イスラムに対する無知から不可能かもしれない。中南米からの還流というのが最も考えられる線だろうか？

〔文：杉村 聡〕

桃太郎も通った道

—甲州街道 鳥沢宿—

江戸時代の初め設置された五街道の一つ、「甲州街道」は江戸と甲府を結ぶ主要道路であった。日本橋を起点とし、内藤新宿（今の東京新宿）、八王子、上野原、大月、笹子峠、勝沼、石和、甲府、韭崎、台ヶ原、中山道下諏訪宿に至るまでの45宿、約220kmの道のりだ。当初は甲州海道、甲府海道と呼ばれていたが、海を通らないのに海道ではおかしいとの理由で享保元年（1716）に甲州道中と改められた。現在は甲州街道の呼称が一般的だ。創建のころは重要な軍用路としての軍事的性格が強かったが、やがて世情の安定、商品流通の発達に伴い、その性格はうすれていった。江戸中期には、信仰・観光を目的とする一般庶民の旅行も多くなり、特に江戸からは富士山信仰のための富士講の道として親しまれるようになった。

当街道、甲斐国内における宿場数は25、うち大月の宿場密度は高く、下鳥沢から黒野田までは12もの宿場があった。中には「下鳥沢宿・上鳥沢宿」のような2宿で1宿分をつとめる合宿もあった。合宿は人馬継ぎ立ての義務を月の前半は1宿で、後半はもう1宿でというように半月ずつ交替で行う。今回はこの合宿の置かれた鳥沢を中心に周辺の史跡、名勝等を紹介していきたい。

—下鳥沢宿・上鳥沢宿—

鳥沢を歩くとまず目を引かれるのが、



甲州街道鳥沢宿

往年の宿場町を思わせる古い家のたたずまいだ。これらの家は出桁軒裏造り（ひきし）といって庇（ひさし）が長いのが特徴だ。通風（かぶと）採光のため屋根が大きくせり出した兜造りの家も見られる。これは養蚕を行うことを目的に生まれた建築様式で、当時、宿内の生業が養蚕・機業であったことを物語っている。次いで江戸・甲府への駄賃稼ぎも、大きな収入源となっていた。上鳥沢桜屋商店前バス停横には『明治天皇駐蹕地（ちゅうひつ）』の石碑が建っている。ここはかつての上鳥沢本陣（宮家・大名等の宿所）跡だ。桂川の精進場は、当時の富士講信者たちが川の水で身を清める禊ぎの場であった。現在でも富士講石碑、馬頭観音などが祀られている。

鳥沢にはいくつかの興味深い説がある。鳥沢の地名が西の猿橋と東の犬目の中間にあたることから十二支にちなんで名付けられた（北都留郡誌）という説、それから、おとぎ話「桃太郎伝説」の桃太郎が鳥沢で鳥（雉）、犬目（上野原町）で犬、猿橋で猿を家来に連れ、鬼の住む岩殿山に向かって行ったという説。伝説には大月の地名に一致するものが数多く登場する。山梨が桃の産地であることから、桃太郎がこの地で誕生し、そして活躍したといっても不思議ではない。昔は犬目、



恋塚の一里塚

鳥沢、猿橋付近を桃太郎街道とも呼んだそうだ。

—恋塚の一里塚—

写真のこんもりとした塚、これは犬目（上野原町）にある恋塚の一里塚である。日本橋から21番目21里の地点にあたる。一里塚は旅行者が歩いた距離を知る目安、また飛脚の賃金目安として置かれたものだ。昔は松の木もあり、暑い時は一休みの木陰に、俄雨には雨宿りの場として使われていた。疲れた旅人の心身を癒す憩いの場であった。本県の中でも最もよく原形を残すものとして、県指定史跡となっている。

—日本三奇橋 猿橋—

鳥沢隣り、当街道24宿目にあたる猿橋には、日本三奇橋の一つ、「猿橋」がある。橋脚を使わず、兩岸の崖から張り出したはね木によって支えられている珍しい構造が奇橋といわれるゆえんだ。橋と桂川、そして周囲の自然が見事に溶け合い、風光明媚ともいえる世界を作り出している。この地を一目見ようと、古くから数々の文人墨客、才人達が訪れ、様々な足跡と作品を残した。松尾芭蕉は句を吟じ、安藤広重は「甲陽猿橋の図」を描いた。今でも広重の絵に思いを馳せ、初夏の夜、月を観賞する観月会が催されたりしている。（写真：若林賢明）